オーディオ実験室収載

iPurifier AC の導入(2)
―タップリベラメンテへの適用―

１．はじめに

前報(1)に引き続いて、今回は iPurifier AC のタップリベラメンテへの適用についてその効果を調べてみます。

２．iPurifier AC の試聴方法

タップリベラメンテはフルに使用していますので、タップリベラメンテの方の GPS-777 の電源を NPX-001 に移し、一つ空き口を作った上で次のような配分としました。

アモルメット組み込み電源ボックス NPX-001

Sonica DAC　fidata HFAS1-S10　Switching-HUB　CCV-5

PC　ABS-7777　GPS-777

タップリベラメンテ

TASCAM DA-3000　MYTEK DIGITAL 192DSD

300B シングルアンプ　iPurifier AC（有・無）

つまりタップリベラメンテにおいて iPurifier AC 無の状態で聴いておき、iPurifier AC 有にしてその効果を確かめようとするものです。

前報(1)では、DAC より前の送り出し系のディジタル機器の電源に作用させ、本報では、TASCAM DA-3000 以降の DSD 変換と DSD のアナログ変換および駆動アンプの電源に作用させる結果になっています。

音源は DMR-UBZ1 の録画再生と fidata からの 11.2MHzDSD 音源の再生とベルリンフィルディジタルコンサートホールの再生です。

いずれの場合も次の機器に効果が及ぶはずです。

TASCAM DA-3000　MYTEK DIGITAL 192DSD　300B シングルアンプ

３．iPurifier AC の試聴結果

iPurifier AC をタップリベラメンテに差し込むと極性は赤ランプ、アースは緑のランプがついて極性の方が適正ではないことが示されています。

DMR-UBZ1 の録画再生では、音の変化の方向性としては、NPX-001 に iPurifier AC を差し込んだ場合と同じで、音が明晰になり、楽器の質感が向上しますが、その程度は NPX-001 の場合には及びません。

fidata からの 11.2MHzDSD 音源の再生では、音の変化の方向性としては、NPX-001 に iPurifier AC を差し込んだ場合と同じで、ディテールの再現性が向上し、音場の奥

行、広がりが向上しますが、その程度は NPX-001 の場合には及びません。
ベルリンフィルディジタルコンサートホールの再生では、ざらつき感がとれてソフトな感じで、同時に見通しの良い音になりますが、その程度は NPX-001 の場合には及びません。

４．まとめ

iPurifier AC をタップリベラメンテに差し込むと NPX-001 の場合と同様の効果を認めましたが、その効果は前報(1)の NPX-001 の場合には及びません。
前報(1)では、DAC より前の送り出し系のディジタル機器の電源に作用させ、今回は、TASCAM DA-3000 以降の DSD 変換と DSD のアナログ変換および駆動アンプの電源に作用させていますので、その違いがあるものと考えられます。
当面、ディジタル再生系では NPX-001 の方に iPurifier AC を適用していきます。

以上